



No. 8 / 4 2

有脇小学校校長だより

2020・8・6



夏休み どうやってすごす？



8月8日から8月20日まで夏休みです。いつもだと40日ほどありますが、今年は13日間です。短いかもしれませんが、この時間を有意義に使ってほしいと思います。夏休みの宿題も今年はぐっと少なくしてあります。「自分で考えて過ごす13日間」にしてほしいと思います。

そしていつも言っていますが「自分の命は自分で守る」を意識してください。交通事故・熱中症予防に加えて、「コロナ感染症」に対しても十分な注意が必要です。3月からは「緊急事態宣言」でしたが、今や「非常事態」となりつつあります。半田市でも感染者が増え続けています。感染してしまうのはどうしようもないことですが、最大の予防と細心の注意を常にはらいましょう。そして「他の人の命も自分が守る」という気持ちをもってほしいと思います。では、元気に21日に会いましょう。

**3密を避ける うがい手洗い こまめな換気
不要不急の外出をさける マスクの着用**

緊急地震速報

7月30日の9時36分頃、突然“あの音”が有脇小学校・有脇地区に流れました。訓練で

は聴いたことのある音ですが、突然流れると緊張しました。子どもたちはちょうど授業が終わったところで、ほとんどが教室にいました。すぐに机の下に身を隠しシェイクアウトの形を取っていました。教頭 T が放送を入れた時に、ガタガタという音が聞こえたので、その時に机の下に身を隠した子どもたちもいたようです。職員室ではテレビで情報を収集し、しばらくして安全であることを確認し、教頭 T が解除の放送を入れました。

結果的にこの速報は「誤報」だったようですが、大地震が発生する可能性がある（今回も地震は実際に起きている）のならば、迷わず出してほしいと思います。

子どもたちは冷静に見事に第1次避難を完了しました。ある担任が「全員が驚くほど速く静かに机の下にもぐりました」と話してくれました。必ず起きると言われている巨大地震に対して、「自分の命は自分で守る」精神が養われつつあるようで、力強く、たくましく感じました。



NHKスペシャル 有脇小学校の熱中症対策は今

8月4日朝、突然市教委から電話をいただきました。「NHKが熱中症対策について取材をしたいと言っているが、有脇小

で受けてくれないか」と。「大丈夫です」とお返事しました。13時30分頃、4人の取材スタッフの方々が来校されました。それからがっつり3時間、いろいろな場所を案内し、機器の説明をし、教室や子どもたちの様子を撮影し、わたしや子どもたちにインタビューし、傘をさしての下校風景を撮影して終わりました。放送の予定を聞くと、その日の18時10分からの番組の中で放送すると言われました。その日の午前中に取材が決まり、午後から取材を3時間受け、夕方には放送されるんです。確かに撮った映像や音源を送信している場面を何度も見ました。どんどんデータが送られて、どんどん編集作業が進められていくんですね。

秋めさわやかな風が恋しい

今回の取材を受け、確信したことがあります。「有脇小学校の熱中症対策は、できることはすべてやっている」ということです。それは地域や保護者の方々の協力があってこそ成り立つことです。また、半田市教委のバックアップがあってこそ成り立つことなんです。教員や子どもたちの熱中症に対する意識も大切です。それらがすべて有脇小学校にはあるということを再確認することができました。



放送時間は約2分間（3時間も取材したのに）でした。それでも有脇小学校にとっては「スペシャル」な時間でした。

※わたしのインタビューを受けた映像は約10秒でした。10分弱はいろいろ話したんですが・・・・・・(^_^)

波の音発生楽器



1年生が音楽科で「うみ」という歌を歌っています。みなさんよくご存じの「海は広いな大きいな月が昇るし日が沈む」です。左の写真は「波の音」を作ることができる楽器です。少し練習が必要ですが、ゆっくり動かして最後に少しだけスピードを増すと、まさしく波の音になるんです。1年生にも波の音を聴きながら歌ってもらいました。

少し強めの風が吹いていて、青空にはトンビが飛んでいて、浜辺の波の音をバックにこの歌を歌ったら最高ですね。妄想でした(^_^)